

事務事業 No./名 称	□サービス部門 ■支 援 部 門 総務-19 車両管理事務						
主管課	管財課	関連課	各クリーンセンター・環境保全課・消防本部				
分野名	行財政運営						
目標 (目標値)	公用車両等の適正な維持管理を行い、市事務事業の効率的な運用に寄与する。 交通事故の防止と安全運転の励行を図る。						
人口等の データ	データ区分	22年度	21年度	20年度	備 考		
	人 口	177,161人	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世 帯 数	78,812世帯	78,131世帯	77,430世帯			
	事業の対象者数						
運営資源 状 況	決算値(千円)	19,212	29,394	28,363			
	(国・県)						
	(負担金等)						
	(一般財源)	19,212	29,394	28,363			
	人員配置数	5.4	8.3	8.4			
	人件費(千円)	46,100	74,315	76,350			
	協働の パートナー						
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	65,312	103,709	104,713			
	市民1人当 りの経費(円)	369	587	593			
	対象者1人 当りの経費(円)						
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体と の比較値)	団体名						
指 標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)
貸出軽自動車増車	◎	目標値	—	—	—	—	—
実績値		1台	0台				

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。				②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。			
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。				④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。			
小事業名	H22決算値	評価 適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)				⇒ 方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止			
車両管理事務	19,212千円	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○	⇒ □A ■B □C □D □E
	事業の概要	公用車の配車・購入・修繕及び事故処理業務								
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要									
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要									
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要									
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要									

中事業の評価結果

事業診断(課長評価)						
H22年度の課題	公用車による交通事故防止を徹底する。職員数の削減に伴い事務効率を高めるため、車両管理事務の見直しを実施する。特殊業務以外における専任運転手による運転業務の廃止と交通事故を防止する。					
課題解決のための取組	貸出軽自動車の予約システムを構築した。					
未解決の課題	特殊業務以外における専任運転手による運転業務の廃止と交通事故。					
今後の方針	職員削減に伴う、貸出軽自動車運用方法の見直し及び運転業務の民間委託化を行う。交通事故を防止するため、事故防止啓発活動に努める。					
今後の方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止	⇒	B	※ □事業完了	課長名	管財課長 鶴見 俊之

個別事業の概要

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	22年度予算	22年度決算値	個別事業の評価結果
車両管理事務	214	車両管理事務	23,960	19,212	■適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり